

〔様式 1〕

## 事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日				
平成15年度	事業コード	11220	電話	042-769-8354
担当部課名	保健福祉部	高齢者福祉	課	生きがい 係
事務事業名	高齢者生きがい対策事業（高齢者交流事業）			

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	安心して生活できる福祉社会をつくれます	事業開始年度
基本施策名	第2節	いきいきとした高齢社会の創造	63以前年度
施策名	第2施策	高齢者の社会参加と生きがいづくり	

## 2 実施根拠及び関連法令等

相模原市高齢者交流事業実施要綱
-----------------

## 3 事務の区分

自治事務
------

## 4 経費の区分

その他の経費
--------

## 5 事務事業の分類

市単独事業
-------

## 6 受益者負担

あり
----

## 7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
市内の公衆浴場を利用して、高齢者の仲間づくりと健康づくりを進めるとともに相互の交流と親睦を深め、高齢者福祉の向上を図る。	65歳以上の相模原市民
	対象数 74,778人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
4月から6月まで 市内の11浴場を利用して、毎月1日と15日に実施した(対象者60歳以上・利用者負担は無し)。見直し後の実施内容(7月以降) 対象者 65歳以上の方(60歳以上から変更) 実施方法 一人月4枚の利用券の交付方式(月2回の施設開放方式から変更) 利用者負担 1回の利用につき100円(利用者負担なしから変更)  ・利用者数32,602人(利用見込み)・利用申込者数1,462人	
(4)個別計画の概要	概要
計画名 市高齢者保健福祉計画	高齢化が進む中で、高齢者が住み慣れた地域で健康で安心して生活できるよう、施策等の展開を計画するもの。(第2期 平成15年度～19年度)
計画年次 12年度～16年度	

## 8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	申込者数の上昇率	$\frac{\text{申請者数}}{\text{前年の申請者数}}$ (平成14年度は前期後期の上昇率)	新制度による6月と10月の申請者数の伸び	-	-	1.09倍	1.02倍	1.02倍
	活動指標 利用率(%) 1人あたりの利用枚数	$\frac{\text{使われた利用券枚数}}{\text{利用券申請者数}}$	1人当たりの利用量の把握(枚)	-	-	2.6枚	2.6枚	2.6枚

## 9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	項目	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
	決算(予算)額	5,933	6,059	11,376	6,224	6,224
	人員・時間数	1人・48時間	1人・48時間	1人・481時間	1人・425時間	1人・425時間
	人件費	201	201	2,009	565	565
	その他経費					
	合計	6,134	6,260	13,385	6,789	6,789
	特定財源					
	対象数			1,462	1,492	1,522
	対象の単位あたり経費	#DIV/0!	#DIV/0!	9.2	4.6	4.5

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度	<input checked="" type="checkbox"/>	高	<input type="checkbox"/>	中	<input type="checkbox"/>	低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度	<input checked="" type="checkbox"/>	高	<input type="checkbox"/>	中	<input type="checkbox"/>	低
	C:達成していない		・事業目標の達成度	<input checked="" type="checkbox"/>	高	<input type="checkbox"/>	中	<input type="checkbox"/>	低
		説明	年々利用者は増加しており、目標である高齢者の仲間づくりと健康づくりの場として利用されている。						
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている						
	B:一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している						
	C:適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない						
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 高齢者の仲間づくりと健康づくりのためには、公衆浴場を利用した事業は格好の事業である。						
(3)有効性 評価 A ▼	A:有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である						
	B:一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている						
	C:有効ではない		説明 利用者同士が誘い合って利用する等仲間づくりと交流が図られている。						
(4)効率性 評価 B ▼	A:優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている						
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている						
	C:改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている <input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない						
		説明	市のみ負担で事業を進めていくには限界があるが、高齢者の仲間づくりの場として効果を上げている。						
(5)公平性 評価 A ▼	A:公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である						
	B:一部公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である						
	C:公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)						
		説明	利用者負担を導入したことにより、公共施設の浴場と比較し公平性は保たれている。						
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額							
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明: 限られた予算の範囲内で実施するには、実施方法について検討する必要がある。	手段	利用回数の見直し(4回から2回へ)						
		削減額	2,585 千円						

11 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較	
		茅ヶ崎市 対象者 = 65歳以上ひとり暮らし、助成券月6枚年72枚交付、利用者負担なし、浴場数6 藤沢市 対象者 = 65歳以上、助成券月4枚年48枚交付、利用者負担100円、浴場数7 座間市 対象者 = 65歳以上(風呂なし)、助成券月10枚年120枚交付、利用者負担なし、浴場数7	
今後の進め方			
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明	
<input type="checkbox"/>	見直し	年々利用者数は上昇しており事業へのニーズは高いが、限られた予算の範囲で実施する。	
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済		

12 二次評価コメント

--